昭和大学歯科病院だより　2021. 4月号

通算191号
2021. 4.15 発行

昭和大学
SHOWA University

―昭和大学歯科病院の理念―

患者本位の医療
先進医療の推進
良き医療人の育成

発行責任者　病　院　長　馬場 一美
編集責任者　広報委員長　丸岡 靖史

〒145-8515　東京都大田区北千束2－1－1
TEL 03-3787-1151（代表）
ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html

コロナ禍の矯正歯科

矯正歯科　准教授・外来医長　中納 治久

2020年1月5日、WHOは中国湖北省武漢において原因不明の肺炎が発生したことを発表しました。その後、1月9日には、その原因が新種のコロナウイルス（のちに、COVID-19と命名）によるものと判明し、2020年4月7日、首都圏において初めて緊急事態宣言が発令されました。我々の生活様式は一変し、新しい生活様式（３密回避、マスクの着用、手洗い）が求められました。2021年4月12日、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用され、まだまだ予断を許さない状況です。皆さんはこの１年、何を考えましたか？　辛いことも沢山ありましたが、考え方によっては、新しい発見や学びもあったのではないでしょうか。

我々歯科医療従事者は、このコロナ禍で何が貢献出来るのだろうと一生懸命考えました。日本歯科医師会は、「新型コロナウイルス感染症に負けない歯と口の健康づくり」と題して、感染症に対する歯と口の健康維持の重要性を示し、新型コロナウイルスの感染に備えることの大切さを説明しています（https://www.jda.or.jp/corona/Tooth-and-mouth-health.html）。

お口の健康にとって、歯列不正、とくに凸凹などの叢生は、歯の清掃を困難にするために悪影響を及ぼすことが知られています。そのようなことが反映してか、昭和大学歯科病院矯正歯科には2019年度に比較して2020年度は106%の新規患者さんが来院されています。勿論、マスクをしている間に矯正したいと思われる方もいらっしゃるでしょう。切っ掛けはさまざまですが、「歯と口の健康」を重要と考える方が増えています。

我々は、歯並び、咬み合わせを治すことで、「歯と口の健康」の一助となるよう、感染対策を徹底した上で矯正治療を提供したいと考えています。「新型コロナウイルス感染症に負けない歯と口の健康づくり」を実践するために。

P1　巻頭言　コロナ禍の矯正歯科
P2　診療科紹介　矯正歯科
P3　歯科治療トピック　歯内治療科
P4　新入職員ご挨拶
　　編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。
患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

診療科紹介　矯正歯科

矯正歯科　講師　芳賀 秀郷

矯正歯科スタッフ

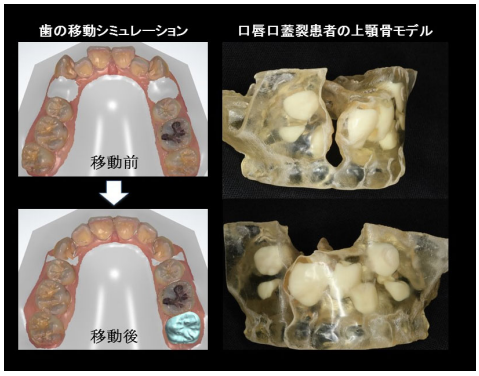

図1 矯正歯科移動シミュレーション(移動前後)および
3Dプリンター応用例

「矯正歯科治療」とは、不自然な位置にある歯やあごの骨を整えて美しい歯並びや正しい噛み合わせ、さらにはバランスのとれた口元を作り出すことです。きれいな歯並びは、むし歯や歯周病の予防につながり、将来にわたってお口の健康維持に貢献します。

現在当科では、歯科医師48名・歯科衛生士5名および歯科ユニット20台の歯科診療室での診療体制となっております。一般的な「小児矯正」や「成人矯正」のみならず、専門的な手術を伴う顎変形症や唇顎口蓋裂など矯正歯科治療も行っています。

では、当科の特徴的な診療内容についてご説明いたします。

(1) デジタル技術を応用した矯正歯科治療

矯正歯科治療を始めるにあたり、『的確な診断』が重要です。当科では、低被爆歯顎顔面用コーンビームCT（CBCT）を用いた三次元的な骨格解析および口腔内スキャナーと矯正移動シミュレーターを用いた歯の移動シミュレーションを行っております。また以前はモニター上もしくは紙面上にしか再現できなかった資料もCADソフトと3Dプリンターを用いて三次元モデルを作成し、治療方針の決定及び患者説明に使用しております。

(2) 非結紮式ジルコニア製ブラケット『マニューバ』と『アライナー型矯正装置』を併用した矯正歯科治療

「より安全に、より審美的に、より快適に」

当科では、上記を目標にかかげ、口腔内に装着する矯正治療器具の開発行って参りました。その１つとしてマニューバが薬事承認を受け、矯正臨床の現場で使用されています。この新しい矯正治療装置である『マニューバ』と『アライナー型矯正装置』（CAD/CAM光造形による口腔内取り外し式透明装置）の併用により、従来の矯正歯科治療の短所であった「装置が目立つ」、「長期間の固定式装置が装着される」等の改善につながるかと考えております。

歯並び・噛み合わせでご不安やご相談がある方は、5階矯正歯科までお越し下さい。

図2 結紮式ブラケットとマニューバの比較、
およびアライナー型矯正装置

歯科治療トピック　歯内治療科

歯内治療科　診療科長　鈴木 規元

歯内治療科は４階西診療室にあり、根管治療を専門としています。この治療は痛みや腫れといった症状の軽減のみならず、治療後に長期にわたって歯を機能させるために重要な処置であり、歯を残すための基礎工事と言えます。当科の特徴的な治療についてご紹介します。

１．マイクロスコープを用いた歯内治療

マイクロスコープ（歯科用実体顕微鏡）は近年の歯内治療においてなくてはならないものです。暗くて狭い環境である根管内を、“光”と“拡大”により“可視化”することにより、肉眼では確認できなかった解剖学的構造や感染源を明らかにし、より確実に治療を進めていくことができます。例えば、見逃されていた根管の探索、複雑な解剖学的構造をもつ根管への対応、歯根破折の診査、根管内破折器具の除去などに加え、通常の治療でもより確実に汚染物質を除去することが可能です。現在では、多くの皆様のご支援もあり、すべての治療台にマイクロスコープを配備し、いつでもマイクロスコープが使用可能な環境となっています。

歯内治療科外来

２．マイクロスコープを用いた外科的歯内治療

マイクロスコープを用いたもう一つの代表的な治療に外科的歯内治療があります。通常の根管治療では治癒困難な難治性の疾患に対して、歯根端切除術とよばれる外科処置により感染部位を取り除くことで、治癒が望める場合があります。歯科用ＣＴを撮り、3次元的に歯根やその周囲の骨・解剖学的構造の状態を精査した上で、歯根端切除術の適応と診断した場合には、マイクロスコープを用いて手術を行います。微細な構造を確認しながら、より精細で外科的侵襲の少ない処置が可能になり、従来の方法と比較して治癒率も向上しています。

３．自費根管治療

保険診療では使用しうる薬剤や器材に制約がありますが、自費診療を選択していただくことで、治療に使用する薬剤や器材の選択の幅が広がり、より理想的な根管治療を行えるようになりました。ご興味のある方はご相談下さい。

マイクロスコープを使用した根管治療。マイクロスコープで見ている視野をモニターに映すことが可能なため（右）、患者さんへの説明や学生教育にも有用である。

新入職員ご挨拶

事務課

待ちに待った臨床研修がスタートしました。常に歯科医師としての自覚と責任をもって診療に携わっていきたいと思います。研修医としての1年間は、今後の歯科医師人生の基盤となるような知識と技術を習得すべく、努力を怠らず日々精進して参ります。

臨床研修歯科医師　徳増 梨乃

4月より昭和大学歯科病院と地域の歯科医療機関の双方で半年ずつ研修させていただく機会に恵まれました。異なる2つの環境の中でさまざまな知識や技能を習得して、適切で安全な歯科医療を行うことのできる歯科医師になれるように日々研鑽を積んでまいります。

臨床研修歯科医師　永田 量也

歯科衛生士としての自覚と責任を持ち、一日でも早く貢献できるよう、一生懸命取り組んでいきたいと思います。

歯科衛生室　歯科衛生士　井上 忍

日々の出来事からたくさんのことを吸収し、自立した歯科衛生士になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

歯科衛生室　歯科衛生士　房野 有夏

歯科衛生士としての自覚を持ち、さまざまなことを経験し、自分の糧となるよう精一杯頑張っていきたいです。

歯科衛生室　歯科衛生士　松本 ひなの

臨床研修歯科医オリエンテーション様子

編　集　後　記

コロナウイルスは変異株が流行しており、まだまだ収束の兆しが見えない状態です。コロナウイルスの影響でこれまでとは全く異なる社会常識が生まれております。社会の変化に順応し、皆様で協力し合ってこの危機を乗り越えていきましょう。必要な外出からの帰宅時の手洗い・うがいとともに食後の歯磨きも徹底していきましょう。　(Y.S)